



# 第一礼拝次第

メッセージ: 渡真利彦文牧師  
司会: 喜屋武克江執事

前奏	540	会衆
主の祈り		〃
ブレイズ	「主の足元に」 「イエスは愛で満たす」	会衆
聖書朗読	使徒言行録 2:1~4 (Ⅱ)	司会
祈禱	(新約聖書 p214)	〃
賛美	Ⅱ 讚美歌 26	会衆
メッセージ	「ちいさなかごに」	会衆
祈禱	「聖霊に満たされ」	牧師
賛美	新生 363	〃
献金	「キリスト教会の主よ」	会衆
報告		司会
頌祝	新生 672b	会衆
祈禱		牧師



# 第二礼拝次第

メッセージ: 郭永東牧師  
司会: 渡真利彦文牧師

聖書: 民数記 30:2-3 (旧約聖書 p266)

メッセージ: 「わたしの誓い Ⅲ」  
プレイス: 「鹿のように」「神の家族」  
賛美: 新生 544 新生 363



# ファミリー礼拝

メッセージ: 渡真利千佳子姉

聖書: コロサイ 1:24~2:5  
メッセージ: 「今や明らかにされた」  
聖書: マルコ 14:10~26

## <巻頭言>

### 「キリスト教の真理」

牧師 渡真利彦文

先週の日曜日は、ペンテコステを記念し、全体で感謝礼拝をささげました。キリスト教の祝祭について考えてみましょう。

日本の四季は変化に富んでいます。ここ沖縄でも、春夏秋冬の移り変わりを楽しんでいます。しかも季節に応じて数々の行事がちりばめられ、また様々な祭りが展開されます。

もちろん、キリスト教にもお祭りがあります。キリスト教の真理はクリスマス(降誕祭)、イースター(復活祭)、ペンテコステ(聖霊降臨祭)の3つの祝祭に、最も具体的に揭示されているといってもよいでしょう。クリスマスは、「父なる神」が私たち人間の救いのため「その独り子を賜ったほどに、この世を愛してくださいました」、その「愛」を記念する祝祭です。イースターは「子なる神」の復活、「死人の中から蘇らせ、それにより、生ける望みをいだかせて」くださった、「希望」の日なのです。そしてペンテコステは「聖霊なる神」が弟子たちに満ち溢れ、大きな力を与え、彼らを真理に導き、「信仰」の再生をもたらせた日です。

一般的に言えば、私たちは「真理」というものを何か抽象的なものだと考える傾向があるのですが、聖書の示している真理は常に具体的で、同時に歴史的なものです。おとぎ話や神話と違って、永遠の神が、時間と空間の制限の中に介入された、具体的で歴史的な出来事を思い巡らし、記念する祝祭を抜きにして、キリスト教の信仰は成り立ちません。